

■ジュニアエコノミーカレッジの特徴

ジュニエコと販売体験の違い

内容	ジュニエコ	販売体験（バザー等も含む）
運営者	民間団体	学校
主体者	子供	保護者、学校
組織	株式会社	任意、チーム
資本・資金	株式、借入金 最大20,000円	保護者あるいは学校 無料～数千円程度
仕入	資本から行う	フリーあるいは保護者でお金がかからない
子供の報酬	利益からの報酬	特になし
納税	利益の10%を市役所等に 擬似納税	なし
帳簿・決算	あり	特になし
販売商品	地場産品が入っていること (郷土理解)	特に制限なし



ジュニエコは体験する環境です。知識の伝達だけにならないよう、教えるのではなく、環境づくりに力を注ぎます。またジュニアエコにはたくさんのルールがあり、（元手の額、地場産品を取り入れる他）それらの条件を満たす選択・決断をしなければなりません。制約があるからこそ、工夫が生まれ、そこから社会のルールを学ぶことにもつながります。知識を、行動プログラムにおきかえることで、子どもたちの学びは深まります。